

皆さんの力作をお待ちしています

# 市展いがに出品しませんか

【とぎ】  
令和6年3月20日(水)～24日(日)  
午前10時～午後6時  
※最終日は午後4時まで

【とぎ】  
伊賀市文化会館  
(西明寺3240-12)

- 【部門】
- 絵画
  - 彫塑工芸
  - 写真
  - 書

【展示作品】

- 公募作品のうち、審査の結果、入賞または入選した作品
- 無鑑査の作品
- 審査員(現・旧)の作品
- 運営委員(現・旧)の作品



### ◆作品搬入

【とぎ】 令和6年3月4日(月)

正午～午後7時

【とぎ】 伊賀市文化会館

### ◆公開審査会

【とぎ】 令和6年3月6日(水)

午後1時～(全部門)

【とぎ】 伊賀市文化会館

### ◆表彰式

【とぎ】 令和6年3月24日(日)

午後1時30分～

【とぎ】 伊賀市文化会館 さまざまホール

### ◆作品講評会

審査員による作品講評会を開催します。(参加自由)

【とぎ】 令和6年3月24日(日)

午後4時～

【とぎ】 伊賀市文化会館 各展示会場

※会期中は審査員による作品講評を映像で会場内に放映します。

### 【出品者資格】

平成20年4月1日以前に生まれた、市内在住・在勤・在学・出身の人

### 【出品規定】

○ 出品点数は、1部門につき1人1点です。

○ 自己の製作した未発表の作品に限ります。

○ 他の公募展に入賞・入選した作品や、新聞・雑誌などに掲載された作品などは発表作品とみなします。ただしグループ展・個展の出展作品は未発表とみなします。

○ 著作権や肖像権などに配慮し、出品者の責任で出品してください。

○ 規定以外の作品は受け付けできません。

※展示方法については主催者に一任していただきます。

【出品料】

1部門1000円(高校生無料)

※出品料は高校生作品出展を支援する備品購入や未来の出展につなげる若年層向けのワークショップ開催などに活用します。

※作品搬入時にお支払いください。

※選外の場合でも返金はしません。

【申込方法】 募集要項で作品の大きさ・額装などの規定を確認の上、出品してください。

### ◆募集要項・出品申込書配布場所

○ 文化振興課(芭蕉翁記念館内)

○ 生涯学習課(ハイトピア伊賀5階)

○ 本庁舎1階総合受付

○ 各支所・各地区市民センター

○ 上野図書館

○ 伊賀市文化会館

○ あやま文化センター

○ 青山ホール

※募集要項は市ホームページからもダウンロードできます。

※出品申込書は10月から配布します。



## 農業委員・農地利用最適化推進委員を紹介します

農業委員と農地利用最適化推進委員の任期は、令和8年7月19日までの3年間です。農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農地などの利用最適化の推進にご尽力いただきます。(敬称略)

### ◆農業委員

- 【小田・久米・上野】 玉岡則夫
- 【長田・花之木】 門口哲
- 【新居・三田・諏訪】 森田陽子
- 【府中】 高田満
- 【中瀬】 西田富司夫
- 【友生】 大田信昭
- 【依那古】 藤室明生
- 【比自岐・神戸】 木下賢一
- 【猪田】 川口一夫
- 【古山・花垣】 中原 宏
- 【柘植】 福岡健一
- 【西柘植】 田中康俊
- 【王生野】 池町安雅
- 【島ヶ原】 坂本榮一
- 【河合・丸柱】 福地和幸
- 【鞆田】 山本好啓
- 【玉滝】 稲森義隆
- 【山田】 西尾長彦
- 【布引・阿波】 橋本隆
- 【阿保・上津】 折戸八郎
- 【種生・矢持】 喜多正展
- 【伊賀ふるさと農協】
- 西口育男・喜久永富美代
- 【公募】 森下光子

### ◆推進委員

- 【小田】 藤下政信
- 【久米】 福田秀次
- 【上野】 柳島正一
- 【長田】 前川玉雄・狭間信
- 【花之木】 松谷康彦・廣田俊彦
- 【新居】 岡祐司・吉藤圭作
- 【三田】 山本憲一
- 【諏訪】 城下一博
- 【府中】 坂口慎一・松山智
- 【中瀬】 門脇昌弘・東明博
- 【友生】 島地宗治・市井清己
- 【依那古】 柿本博美・中住武敏
- 【比自岐】 田中勇・森本壽一
- 【神戸】 森崎幹生
- 【猪田】 中出文夫・辻岡孝男
- 【古山】 小倉和久・杉森雄一
- 【花垣】 西田育郎・中井秀幸
- 【柘植】
- 澤井清敏・中島義文・辻本健男
- 【西柘植】 松島秀生・久保善寛
- 【王生野】 上野覚・福西重嗣
- 【島ヶ原】 南博人・川下裕史
- 【河合】 田中弘毅・北川敏匡
- 【丸柱】 森岡一夫
- 【鞆田】 松村保宏・栗原信昭
- 【玉滝】 藤森知一・谷本真
- 【山田】
- 宮崎孝志・宮本長生・川口貞之
- 【布引】 中川博昭
- 【阿波】 曾我隆清・永岡清
- 【阿保】 吉岡輝一・平岡慎司
- 【上津】 森本吉光
- 【種生】 長谷川和美・立山繁昌
- 【矢持】 坂本武己

【問い合わせ】 農業委員会事務局 ☎ 22-9720 FAX 22-9715 ✉ nougyou@city.iga.lg.jp



## 家庭から食品ロスを減らそう

### ◆食品ロスとは？

日本では、食べられるのに捨てられる食品(食品ロス)の量が年間52.3万トン\*と推計され、日本の人口1人あたり毎日おにぎり1個(114グラム)を捨てている計算になります。大量の食品ロスが発生することで、さまざまな影響や問題があります。食品ロスを含めた多くのゴミを廃棄するため、ゴミ処理に多額のコストが必要で、また可燃ゴミとして燃やす灰の埋め立てなどによる環境負荷が考えられます。

\*令和3年度推計(農林水産省・環境省)

(政府広報オンライン)「今日からできる!家庭でできる食品ロス削減」から抜粋

### ◆家庭でできることから始めましょう

食品ロスを減らすコツは、買い物をするときは「必要なだけ買う」、料理をするときは「食べきれない量を作る」、食事をするときは「おいしく食べきる」ことです。

#### ○ 買い物

- ・ 事前に冷蔵庫内を確認する。
- ・ まとめ買いを避け、必要なだけ購入する。
- ・ 陳列されている前の食品から購入する。



#### ○ 保存

- ・ 食品に記載された保存方法や下処理をして適切に保存する。



#### ○ 調理

- ・ 残っている食材から使いきめる。
- ・ 食べきれない量をつくる。
- ・ 野菜や果物の皮は厚むきしない。



【問い合わせ】 廃棄物対策課 ☎ 20-1050 FAX 20-2575 ✉ haikibutsu@city.iga.lg.jp

